

平成26年度 県立石下紫峰高等学校自己評価表

目指す 学校像	1 「心の教育」の充実に努め、人間としての在り方生き方の自覚を深め、豊かな人間性を育成する学校 2 心身ともに健全な活力ある人間の育成を目指し、自主的活動を推進する学校 3 多様な進路希望に対応し、一人一人が主体的な学習を通して自己の能力を伸ばし、自己実現を可能にする学校 4 実践的・体験的な学習を積極的に取り入れ、適切な勤労観・職業観を育成し、社会の一員として活躍できる人間を育成できる学校 5 保護者・地域社会との連携を深め、社会から信頼される開かれた学校		
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況
1 平成27年度予定のアクティブ・スクールへの改編に向けて「ISベーシック」等の短時間授業を平成26年度から実施することとし、準備を進めた。今年度は授業を進めながら、生徒に有効な授業となっているかを検証する必要がある。	基礎・基本の学力の養成	① 「学び直し」による基礎学力の育成を行う。 ② 多様な個性の生徒に対して、単位制を生かして興味・関心や習熟度に応じたきめ細かな指導を行うとともに、絶えず授業形態等の工夫改善を行う。 ③ 授業公開の積極実践と相互研鑽を行い、授業展開の工夫等の教授法の改善に努める。	B
	基本的な生活習慣の確立 生活指導の充実	④ 生徒の日常の生活実態を把握し、家庭と連携して規則正しい生活リズムの確立を促し、基本的な生活習慣の確立のための指導を充実する。 ⑤ 欠席、遅刻、早退、服装・頭髪、交通安全等に係る指導、あいさつの励行を行う。 ⑥ いじめや問題行動等の未然防止と早期解決を図るための指導を行う。 ⑦ 好ましい人間関係づくりの指導・コミュニケーション能力の育成を行う。 ⑧ 規範意識の確立、道徳心の高揚、他者への思いやり醸成のための指導を行う。 ⑨ 個人面接等を充実して、生徒理解を深め、生活面で適切な指導を行う。 ⑩ 教員間での生徒の問題の共有と共通理解に基づく共通行動体制の確立を行う。 ⑪ スクールカウンセラーを積極的に活用し、学校と家庭との連携を図る。生徒の生活実態を把握し、家庭と連携して生徒の規則正しい生活リズムの確立を促す。	B
2 継続した頭髪服装指導が効果を上げつつある。今後は、学校全体で生活改善につながる指導を一層徹底する必要がある。	進路指導の充実	⑫ 3年間を見通した計画的・系統的なキャリア教育を推進することで一人一人の興味・関心・適性などに応じた指導体制の確立を図る。 ⑬ 個人面接等を充実して、生徒理解を深め、長所や短所を把握し、進路面で適切なアドバイスを行う。 ⑭ インターンシップ等を積極的に推進し、望ましい勤労観・職業観を醸成する。また、夏期講習、学校見学、各種検定試験、必要に応じた課外等を充実する。	A
	特別活動の推進	⑮ 生徒が活力ある学校生活を送れるように、生徒会・部活動の活性化を学校全体で推進する。 ⑯ ホームルーム活動や部活動などの集団活動を通して、心身の発達と個性の伸張、コミュニケーション能力の育成や他者への思いやり涵養などの社会性を育成する。	B
	アクティブスクール開設に向けた研究促進	⑰ 次年度のアクティブスクール改編に向けた教育課程、運営体制等についての細部の検討を実施するとともに、先行実施した内容の検証と改善を進める。	A
	地域から信頼される学校づくり	⑱ 文化祭等の学校行事に多くの保護者や地域住民に足を運んでもらうことで、本校の教育活動への一層の理解と協力を得られるようにする。 ⑲ 保護者、中学校、地域への広報活動を一層充実し、学校の特色や取り組み・活動を知ってもらうことで、学校への評価と信頼を高める。	B

※ 評価基準 A：十分よい B：よい C：やや不十分 D：不十分

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価		次年度(学期)への主な課題	
教科指導	密度の濃い授業を展開する。	授業目標に沿う授業計画を授業時間ごとに立案する。 ①②	B	B	・少人数授業や習熟度別授業についての校内研修を充実させたい。	
		授業終了後には指導内容を点検する等、次の授業に生かされる授業の改善に努める ①②③	A			
教 科	国語	基礎・基本の学力を養成する。	生徒の実態を踏まえた年間計画を作成・実施し、その中で絶えず指導の工夫改善に努める。 ①②	B	B	・1年次での「ISベーシック」との連携、2年次の短時間授業の内容を工夫し、教材等も必要に応じて変更する。 ・本校の実態を踏まえ、自由選択科目の内容充実を一層図る。 ・長期的な計画を基に、日本語が母語ではない生徒への指導を行う。
		個に応じた指導を行う。	生徒の理解状況や指導方法について、担当者間で打合せをし、きめ細かな指導を行う。 ②③	A		
			選択科目等を活用しながら、漢字検定・日本語検定の合格者を増やすために指導を徹底する。 ④	A		
			日本語が母語ではない生徒等に対し必要に応じて課外を開講するなどして、彼らの基礎学力の養成を目指す。 ①	B		
		少人数授業、習熟度別授業を設定し、個に応じた助言を行うことで、全員が分かる授業を展開する。 ②③	B			
	地歴公民	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。 ①②	B	B	・多様な生徒の興味・関心や、進路希望等に適切に対応できるように、史資料や視覚資料を活用するなど、指導方法や指導内容の工夫・改善を行う。 ・今年度完成した「ふるさと'いばらき」の歴史編のテキストを活用するなど、授業内容のさらなる検討を図る。
		個に応じた魅力ある授業を展開する。	生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身に付けられるように、教材を工夫改善する。 ①②	B		
			資料・史料の活用や、発見学習の要素を取り入れる。 ①②	B		
			生徒の実態に応じて、少人数指導を行うなど授業展開の工夫を図る。 ②③	B		
			長期休業中や放課後等において、学習の遅れがちな生徒や学習意欲が旺盛な生徒への学習指導等、個に応じた指導を行う。 ②③	B		
数 学	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	生徒の実態に応じて、教材を吟味し授業展開の工夫を図る。 ①②	A	A	・生徒が数学に対して興味・関心を抱くような授業を目指して工夫改善を図る。 ・生徒の能力に応じた適切な題材・指導法を模索する。	
	達成度に応じた魅力ある授業を展開する。	例題や問題を多く出題する。 ①②	A			
		机間指導を多く取り入れる。 ①②	A			
		問題集やプリントを活用し、生徒の達成度に応じた指導を行う。 ②	A			
		成績不振者を出さないよう、補習等を行う。 ②	B			
基礎的学習能力を高める。	少人数クラスによる授業を実施する。基礎的な内容を扱う時間を設ける。 ①②	A				
理 科	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	教科や科目の学習目標及び学習内容(評価基準等を含め)を明確にして、年間学習計画に基づいて指導する。 ①②	B	B	・安全に実験や観察のできる学習環境の維持に努める。 ・生徒が科学に対して興味・関心を抱くような授業に工夫改善をする。	
	個に応じた魅力ある授業を展開する。	生徒が科学的事象に興味・関心を示す教材の開発や教科指導法の研究をする。 ①②	B			
		実験や観察を通じた学習指導を行う。知識を教える授業から互いに学びあう双方向の授業を展開する。授業について教科内研修を行い、互いの指導技術を高める。 ① ②	B			

※ 評価基準 A：十分よい B：よい C：やや不十分 D：不十分

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題		
教	保 健 育	指導内容や指導方法の工夫を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。 ① ②	A	<ul style="list-style-type: none"> ・少数ではあるが体育を苦手とする生徒にも自主的に運動に親しむ資質を身につけさせられるように指導していく。 ・学校生活全般にわたって規律ある行動が取れるように集団行為道を充実させていく。 ・体育理論の授業を更に充実させていく。 	
			生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身に付けられるように、教材を工夫改善する。 ①②	A		
			多面的な角度から評価ができるように工夫する。 ②	A		
		本校の教育方針に則った授業展開を工夫する。	自主的な活動を促す授業展開を工夫する。 ②	A		
			体育の授業(球技を中心に)においてコミュニケーション能力の育成を図る。 ②	A		
		体育の授業において忍耐力を養う授業展開の工夫をする。 ②	A			
	芸 術	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。 ① ②	B		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒個々の実技能力の差がある中で、興味・関心を如何に高め芸術に関する意欲を喚起し、自らが前向きに芸術活動に参加する態度を養っていききたい。 ・芸術文化についての理解を深められるよう、我が国の伝統的な芸術文化について積極的に授業に取り入れていきたい。
		個に応じた魅力ある授業を展開する。	生徒の実態に応じて、少人数指導を行う等授業展開の工夫を図る。 ②	A		
			長期休業中や放課後等において、学習の遅れがちな生徒や学習意欲が旺盛な生徒への学習指導等、個に応じた指導を行う。 ② ③	B		
		自己評価によって学習の軌跡を振り返る。	自己評価カードや創作ノート等を活用する。 ①③	B		
科	外国語	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。 ① ②	B	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力定着のための自作プリントを教員間で共有し、生徒の習熟度に合わせた指導が出来るようにする。 ・コミュニケーションを目的とした授業展開になるよう、教材をより工夫し、生徒主体の授業になるようにする。 	
			生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身に付けられるように、教材を工夫改善する。 ①②	A		
			教科会等を通し、担当者同士又は教科内で情報交換を行い、研修に努める。 ①③	B		
	個に応じた魅力ある授業を展開する。	生徒の実態に応じて、少人数指導を行う等授業展開の工夫を図る。 ②③	B			
		長期休業中や放課後等において、学習の遅れがちな生徒や学習意欲が旺盛な生徒への学習指導等、個に応じた指導を行う。 ② ③	B			
	家 庭	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。 ① ②	A		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な内容を定着させるために、教材や授業展開を工夫改善する。そのため、教科会を定期的に関し、情報交換と研修を充実させ、教員のスキルアップを図る。 ・学習が遅れがちな生徒に対しては、クラス担任との連絡を密にしながら補習を行う。
		生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身に付けられるように、教材を工夫改善する。 ①②	B			
個に応じた魅力ある授業を展開する。		生徒の実態に応じて、少人数指導を行うなど授業展開の工夫を図る。 ②③	B			
		長期休業中や放課後等において、学習の遅れがちな生徒や学習意欲が旺盛な生徒への学習指導等、個に応じた指導を行う。 ② ③	A			

※ 評価基準 A：十分よい B：よい C：やや不十分 D：不十分

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度（学期）への主な課題	
教 科	情報	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する ① ②	A	<ul style="list-style-type: none"> 情報モラル指導の更なる徹底を図る。 実践を伴う科目において、作業が遅れがちな生徒についての指導をより徹底する。 評価の観点を一層充実させるために、検定合格を一つの目標とし、それに対応するための指導方法の改善。
		個に応じた魅力ある授業を展開する。	生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身に付けられるように、教材及び指導方法を工夫する。 ①②	B	
		個に応じた魅力ある授業を展開する。	授業への意欲が向上するような魅力ある題材を取り入れる ①②③	A	
	商業	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。 ① ②	A	
		個に応じた魅力ある授業を展開する。	生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身に付けられるように、教材を工夫改善する。 ①②	A	
		資格取得に力を入れた指導を展開する。	⑭	A	
教 務	基礎・基本の学力を養成する。	生徒の実態に応じて、少人数指導を行うなど授業展開の工夫を図る。 ②③	B	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着を確かなものにするために、少人数・習熟度別授業に関する研究協議を継続して実施する。 本校の多様な教育活動について、より一層外部に発信していく。 	
		長期休業中や放課後等において、学習の遅れがちな生徒や学習意欲が旺盛な生徒への学習指導等、個に応じた指導を行う。 ②③	B		
		わかる楽しい授業を展開するため、少人数・習熟度別授業等に関する研究授業を実施し、研究協議を行う。授業における指導法や内容等について、全校体制で改善を図る。 ①②③	B		
	学習意欲の向上を図る。	11月に保護者や地域の方々を対象とした公開授業を実施する。その際、アンケート調査を実施し、結果を活用する。 ①②③⑦⑨	A		
		現在の教育課程における課題点を把握・整理し、教育課程の見直しを行う。 ②⑦	A		
		学習実態調査等をもとに生徒の学習実態を明らかにし、授業や家庭学習への取組状況の改善を図る。 ①②③	B		
	家庭や地域社会との連携を密にする。また、外部に対する教育活動の周知に努める。	少人数・習熟度別授業の実施を継続するとともに、不断の見直しを行う。 ①②③	A		
		欠席・遅刻防止の指導に努めるとともに、出席状況等について、保護者との連絡を密に行う。 ④⑤⑨	B		
		体験学習の授業公開及び研究協議会を実施する。 ②③⑦⑨	A		
		11月の公開授業時や年度末の学校評価の際に、保護者や地域の方々へアンケート調査を実施し、結果を「学校だより」やホームページ等で公表する。 ③⑦⑧⑨	A		

※ 評価基準 A：十分よい B：よい C：やや不十分 D：不十分

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題	
生徒指導	基本的生活の習慣の確立	日常生活のリズムの確保を図る。	HR、授業、登校指導を通しての日常的な生活指導を重視する。 ④⑤⑨	A	<ul style="list-style-type: none"> ・服装頭髪での指導件数が減少しているが、これを完全になくすように毎日の指導を強化していく。 ・交通安全教育について配布物だけでなく集会等での注意を充実させ、交通事故0を目指す。 ・いじめが全くない学校生活になるように生徒の心の内面に働きかけ望ましい人間関係を築くよう指導する。
		服装、頭髪等の改善と生活マナーの向上を図る。	毎日の服装容儀指導、定期的な集会での検査、不合格者の指導を徹底する。 ④⑤⑧⑨	B	
		交通安全、交通ルールへの順守、自転車・バイクの安全運転と管理を徹底する。	集会での講話、校外キャンペーン活動、HRでの指導や定期的な安全検査を実施するとともに、啓発ちらしの配布を行う。 ⑥⑧	A	
		常に生徒の実態把握に努め、いじめ、問題行動や退学志向の未然防止を図るとともに素早い対応を行う。	面談や観察及び巡回指導を重視するとともに、情報の共有化を図り、年次間で協調して指導をする。 ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	B	
			いじめ防止のために、アンケートを年2回実施するとともに生徒とのコミュニケーションを緊密にとり、未然防止及び早期発見に努める。 ⑥⑦⑧	B	
	校内生徒指導体制の充実強化	クラス内の生徒間の好ましい人間関係づくりに努める。	HR経営の研修や各種アンケートを実施する。 ④⑥⑦⑧	B	
		生徒の自主的活動を育て生活改善に取り組む。	特活行事の工夫、生徒参加の校外キャンペーンの実施(さわやかマナーアップ)、自主的体験活動の実施に努める。 ⑫⑬⑭⑮⑯	A	
		教育相談の校内体制を整備し、機能的な取組に努める。	相談体制の周知広報に努めるとともに、相談チームの活性化を図る。 ⑦⑧⑨⑩⑪	A	
		家庭、中学校、警察、地域など校外関係機関との連携強化を図る。	P T A 関連行事の活用、家庭訪問や近隣中学校の訪問、警察署との密接な交流などを実施することで、キャンペーンの広報及び協力要請を行う。 ⑱⑲	A	
進路指導	年次と連携し、ホームルームや総合の時間を利用して体系的な進路指導を行い、生徒の希望する進路を実現させる。	1年次：インターンシップや進路ガイダンスを通し、適切な職業観を育成する。その上で、2年次の授業の選択及び進路について考えさせる。 ⑫⑬⑭	A	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する進路の早期実現を目指して、キャリアガイダンス等をさらに充実させる。 ・面接試験等の対策に組織的系統的に取り組む体制を一層強化する。 ・年次間の指導内容の引き継ぎを円滑に行う。 	
		2年次：進路別ガイダンスや講話により、各自の進路に関する知識を深めさせる。また、面接や履歴書の書き方などの練習を行い、3年次の進路活動を意識させる。 ⑫⑬⑭	A		
		3年次：個人面談を充実させ、個に応じた指導を行い、進路を決定させる。面接や自己PRなどの練習を繰り返し、生徒が自信を持って受験できるよう指導する。 ⑫⑬⑭	A		
	希望する進路を実現させるため、学力を向上させる。	学力向上及び資格取得のため、放課後に課外授業を実施する。 ⑭	B		

※ 評価基準 A：十分よい B：よい C：やや不十分 D：不十分

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題
保健厚生	生徒の健康に対する意識を高める。	定期健康診断を実施する。④	A	B <ul style="list-style-type: none"> 健康や安全についての健康教育において、生徒が主体的に取り組むことができるよう意識の向上をはかる。 清掃時のみならず、日常生活の中でも、環境美化についての指導に努める。
		性教育を実施する。④⑪	A	
	学校安全への意識を高め災害の未然防止と発生時の適切な対応を周知徹底する。	救命講習会を実施する。④	B	
		避難訓練を実施する。④	B	
	ゴミの分別や毎日の清掃活動を通じて、環境美化の意識を高める。	清掃の徹底を図る。④⑧	B	
		毎日の清掃指導を徹底する。④⑧	B	
渉外	適正なPTA活動に向けた企画に努める。	生徒の自己実現を助けるPTA活動を企画する。⑧	B	A <ul style="list-style-type: none"> PTA総会への出席率が27.1%→40.4%に向上した。 広報誌とかかわら版を発行し広報活動に努めた。 各種研修会に本部役員の参加を計画的に行うことができた。
		家庭における教育力を高めるPTA活動を企画する。④⑥⑧	B	
	PTA活動を通して、家庭と学校との連携を密にし、行事への参加を促す。	生徒の健全育成を目指し、親として自ら学ぶ態度を育成する。④	B	
		教育諸機関・地域社会に向けて積極的に行動する提案型の組織活動を確立していく。⑧⑱	A	
		PTA会報による広報を充実させる。⑧⑱	A	
図書	読書意欲の向上を図る。	図書委員会活動を活性化させ、学級文庫を2回実施する。読書を奨励し、年度末には多読者の表彰をする。①②	A	B <ul style="list-style-type: none"> 図書館や図書の利用を促進し、読書意欲の向上を図る。そのための方策(購入図書一式・図書委員会活動等)を検討する。
	図書・資料の充実を図る。	購入希望図書の調査をし、リクエスト図書を随時受け付ける。①	C	
		購入図書の広報、本の情報を掲示・展示する。①②	C	
	図書館・視聴覚室の利用を促進する。	授業に必要な図書・視聴覚資料を購入する。①②	B	
		生徒向けの行事、映画会等を行い、図書を身近なもの意識させる。①⑬	A	
	図書管理のシステム化を進める。	図書の整理(廃棄も含む)を行い、書架を見やすく整理する。①②	B	
特活	HR・生徒会活動・学校行事を通して、自主的で実践的な人間形成に努める。	行事内容を検討し、学校行事の活性化を目指す。⑫⑮⑱	B	B <ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動、部活動のより一層の活性化を図る。 生徒が学校行事に積極的に参加するような方策を検討する。
		生徒会活動を通してあいさつ、学校美化を図る。⑭⑮	B	
	集団意識の高揚を図り、責任感の向上を図る。	あいさつ運動やボランティア活動を通して生徒の自主性や責任感の育成を目指す。⑬⑮	B	
		学校行事等での企画、準備・運営においての生徒の積極的な参加を促すとともに、リーダーとなる生徒の育成を図る。⑬⑭⑮	B	
	部活動の活性化を図る。	部活動紹介、体験入部や各部壮行会を通して、部活に対する意識の向上を図り活性化につなげる。⑬⑮	B	

※ 評価基準 A：十分よい B：よい C：やや不十分 D：不十分

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度（学期）への主な課題
教育情報	Webページ等での広報活動に努める。	Webページ等で積極的に本校の広報活動を行う。⑱	B	<ul style="list-style-type: none"> ウェブページでの広報に力を入れたい。 職員貸し出し用ノートパソコンの配付方法を見直すべきか？ 次期担当者の育成・引き継ぎを考える時期か？
	校内研修会を実施する。	職員の情報セキュリティに対する知識・理解向上のため、研修会や資料配布などの啓発活動を行う。⑱	A	
	校内の情報機器を管理する。	パソコンやUSBメモリなどの情報機器の貸し出し及び管を行う。⑱	B	
		セキュリティ向上のため、パソコンのアップデートを定期的に行う。⑱	B	
第1年次	基礎学力の育成と学ぶ意欲の涵養を図る。	ISベーシックでの学び直しの授業を通して、中学校における復習を行う。また、英国数等の少人数授業によりきめ細かな学習指導を行い、基礎力を定着させるための素地を作る。①②③	A	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力を定着させるため、授業を大切に、集中して取り組む姿勢を育成する。 基本的な生活習慣をしっかり身につけさせるために、継続的かつ組織的に取り組む。 学校行事や年次行事を効果的に活用し、生徒のリーダーシップを涵養する。 第1年次でのキャリア教育の取組を、第2年次においてさらに発展させていくために、生徒の進路希望を考慮した体系的なキャリア教育を展開する。
	基本的な生活習慣の確立を目指す。	挨拶の励行と服装容儀指導を全体に徹底させるとともに、きちんとした生活習慣を身に付けさせ、充実した学校生活を送れるよう個人面談等を通して指導する。④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	B	
	部活動を推奨し、学校行事への積極的な参加を促す。	学校行事への積極的な参加を促し、集団における成長を図る。また、部活動参加を積極的に呼びかけ、加入率アップを目指す。同時に部活動においてリーダーとなれる生徒を育成することで学校行事の活性化を目指す。⑬⑭⑮⑯	B	
	進路指導の充実を図る。	キャリアスキルやLHR、道徳、年次行事等を通して、3年間を見通したキャリア教育の土台作りを行う。また、インターンシップ等を通して社会の求める人材の育成に努力し、地域社会から認められる学校を目指す。⑨⑩⑫⑬⑭⑯	A	
第2年次	基礎学力の育成と定着を図る。	英数国における習熟度別少人数授業を通して確かな基礎学力を身に付けさせる。授業を大切に、集中して取り組む姿勢を育成する。①②③	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の能力に応じた学習支援を行い、基礎力を高める。 学校行事の他、清掃活動などの日常的な活動への積極的な参加を促すし、協調性・社会性を高める。 生徒の進路意識を高揚させるようにキャリア教育をより充実させ、面談の機会を増やし生徒一人一人に応じた指導を行う。
	基本的な生活習慣を確立させる。	服装容儀指導は年次全体で組織的に取り組む。また、家庭と協力し、欠席・遅刻・早退の数を極力減少させる。④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	B	
	特別活動に積極的に取り組ませる。	文化祭、クラスマッチ、野球応援等の学校行事への積極的な参加を通して、愛校心や思いやりの心を育てる。また、生徒のリーダーシップを涵養する。⑬⑭⑮⑯	A	
	キャリア指導の充実を図る。	「総合的な学習の時間」やLHRを中心に、自己の在り方生き方について深く探求させ、生徒の進路希望を考慮したキャリア教育を行う。⑨⑫⑬⑭⑯	A	

※ 評価基準 A：十分よい B：よい C：やや不十分 D：不十分

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価		次年度(学期)への主な課題
第3年次	基礎学力の養成と定着を図る。	授業を大切にする気持ちを持たせ、授業に集中させる。また、家庭学習を奨励し、基礎学力の定着と学力向上を図る。 ①②③ LHRや「総合的な学習の時間」を活用し、就職試験(筆記試験)や上級学校入学試験の対策を実施する。 ①②③	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着・向上のために、家庭学習の習慣化を図る方策が必要である。 進路(上級学校・就職等)内定後の学校生活をさらに充実させる指導の在り方をさらに検討する。 進路(上級学校・就職等)決定においては一定の成果を収めたが、ミスマッチを防ぐためには、より深い自己理解と進路研究が不可欠である。そのための方策を研究し、適切に講じる。
	基本的な生活習慣の確立と生活指導の充実に努める。	社会人になることを意識させ、欠席・遅刻・早退をさせないようにするとともに、時間厳守を心がけさせる。 ④⑤⑧ 服装容儀や頭髪についても日常的に厳しく指導し、普段から正しい服装を心がけさせる。 ④⑤⑧ 個人面談を繰り返し生徒の実態を踏まえた生活指導を行う。⑦⑨	A		
	進路指導の充実に努める。	教員に対する言葉遣い、校内での所作から来客への会釈(挨拶)に至るまで社会人として必要な礼儀作法を、日常の学校生活において意識的に指導し、身に付けさせる。 ⑥⑧ 自分を見つめなおし、学校や社会とのかかわりを真剣に考えさせることで、面接試験等でしっかりとした自己表現ができる生徒を育成する。 ⑨⑩⑫⑬ 「総合的な学習の時間」やLHRにおいて面接指導を徹底する。また、進路指導室を積極的に利用させ、適切な情報収集ができるようにする。 ⑧⑩⑪⑬	A		
	特別活動の推進に努める。	クラスマッチや文化祭等の学校行事を通して、生徒一人一人に活躍の場を与え、成就感を体感させる。また、準備や後片付けを通して、責任感を醸成する。 ⑭⑮⑯⑰	A		
	家庭との連携を密にする。	年次通信を定期的に発行し、家庭の協力と理解を得る。 ⑧⑱	A		

※ 評価基準 A：十分よい B：よい C：やや不十分 D：不十分